

第 1 回 山口県 新たな時代の人づくり会議 事務局説明資料

令和元年 5 月 22 日
山口県

【本会議の設置目的】

「人生100年時代」や「Society5.0」など、新たな時代を見据え、明治150年を契機とした人材育成の取組を活かし、山口県ならではの人づくりの推進方針を策定するとともに、施策を推進する体制の整備を図る。

《 課題意識 》

- ◇ 小・中学生を対象とした郷土学習、高校・大学生を対象としたトップリーダーとの対話セミナーや大学PBLの体制づくりなど、「志」と「行動力」の育成に取り組んでいるが…
- ◇ 学校においてもコミュニティ・スクールを核とした地域連携教育（地域課題学習など）に取り組んでいるが…



これからの、将来の予測が困難な時代を生きていくための人づくりには更に何が必要となるだろうか。

《 山口県の強み 》

- ◇ 幕末・明治期をはじめとして様々な分野に挑戦し活躍した先人から学ぶ環境や資源がある。
- ◇ 全国に先駆けてコミュニティ・スクールの導入に取り組んできた、地域と学校との連携基盤がある。
- ◇ 世界規模で活躍する企業が集積している。

1 新たな時代の人づくりの推進について

◇ 「新たな時代の人づくり会議」の開催（5月～ 全3回程度）

- ・ 県内関係者による、人づくり施策の推進方針策定に向けた検討会議を開催

◇ 有識者懇話会の開催

- ・ 教育界、経済界など幅広い分野の有識者の見識を人づくり施策の構築に活かすため、知事との有識者との懇話会を開催

(1) 人づくりトークセッション（7月～11月目途 全4回）※ オープンな意見交換の場

《テーマ》

- ① これからの時代に必要な資質や能力・学びの在り方
- ② 課題発見・解決能力を育むコミュニティ・スクール
- ③ これからの時代に必要なキャリア教育
- ④ 歴史に学ぶ山口県の人づくり

(2) 人づくり個別懇話会（随時）

- ・ これからの時代に必要な資質や能力・学びの在り方 など

◇ 「新たな時代の人づくり推進方針（仮称）」（中間報告：11月、方針策定：2～3月）

◇ 推進体制の構築（産学公連携による人づくりプラットフォームの構築）

令和2年～：「新たな時代の人づくり推進方針（仮称）」に基づく施策の展開

2 有識者懇話会のテーマ等

論点 これからの、将来の予測が困難な時代を生きていくための人づくりにはどのような観点や取組が必要となるだろうか。

① これからの時代に必要な資質や能力・学びの在り方

これからの将来の予測が困難な時代を生きていくためには、どのような力を身に付けていくことが必要となるだろうか。また、そのためにはどのような教育プログラムや手法が必要となるだろうか。

② 課題発見・課題解決能力を育むコミュニティ・スクール

山口県ではコミュニティ・スクールの導入に力を入れてきたが、特に高校コミスクの取組について、これからの時代に必要となる資質や能力を育成する場として活かさないだろうか。そのためにはどのような取組が必要となるだろうか。

③ これからの時代に必要なキャリア教育

人生100年時代の到来や急速な技術革新などを見据え、これまでのキャリア教育の考え方や取組を俯瞰しつつ、今後はどのような観点や取組が必要になるだろうか。

④ 歴史に学ぶ山口県の人づくり

山口県の歴史的な位置付けや果たしてきた役割を踏まえ、これからの人づくりに活かしていくべき山口県の良さや特徴にはどのようなものがあるだろうか。

《人づくりトークセッション有識者》 ※ 敬称略

氏名	所属	主な国審議会等（過去のものを含む）
① これからの時代に必要な資質や能力・学びの在り方（7月予定）		
みやさか 宮坂 まなぶ 学	ヤフー株式会社 取締役会長	防府市出身
くまひら 熊平 みか 美香	昭和女子大学キャリアカレッジ 学院長、21世紀学び研究所代表理事	「未来の教室」とEdTech研究会委員
いしど 石戸 ななこ 奈々子	NPO法人CANVAS理事長、慶應義塾大学教授	情報通信審議会委員
きむら 木村 けんた 健太	広尾学園中学校・高等学校 医進・サイエンスコース統括長	「未来の教室」とEdTech研究会委員
② 課題発見・課題解決能力を育むコミュニティ・スクール（8月予定）		
みづたに 水谷 ともゆき 智之	（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム代表理事	教育再生実行会議高校改革WG構成員
やまざき 山崎 りょう 亮	株式会社studio-L 代表取締役	国・行政のあり方に関する懇談会(H25,26)
しおみ 塩見 え みづ枝	文部科学省総合教育政策局社会教育振興総括官	
③ これからの時代に必要なキャリア教育（8月予定）		
ふじた 藤田 てるゆき 晃之	筑波大学人間系教授・教育学類長	教育再生実行会議高校改革WG有識者
つのだ 角田 ひろこ 浩子	株式会社リクルート 「キャリアガイダンス」編集顧問	中央教育審議会初等中等教育分科会臨時委員
わかえ 若江 まき 眞紀	株式会社キャリアリンク 代表取締役	中央教育審議会初等中等教育分科会臨時委員
④ 歴史に学ぶ山口県の人づくり（11月予定）		
調 整 中		

※ 個別懇話会の有識者は今後調整（山口県にゆかりのある大学教授等）

3 明治150年を契機とした若者育成の取組 (H29～)

◇ 先人たちのチャレンジ精神に学び、若者自らが「志」について考え、「行動」に移していく人材育成事業などを実施

(1) 若者が主体的に考え行動することを学ぶ場の提供

【対象】 高校生・大学生 (60名程度)

【講師】 知事、吉村 猛氏 ((株)山口フィナンシャルグループ社長)、岡 正朗氏 (山口大学学長) 他

【取組内容】 トップリーダーとの対話セッション、「志」の探求と実現のためのプランづくり、留学生等との意見交換や合宿 など



若者「志」ミーティング (知事、吉村社長) <H29>



若者国際会議 (知事、岡学長) <H29>



ワールドカフェ <H30>

(2) P B L (Project Based Learning) を活用した教育プログラムの構築

【事業内容】 企業と教育機関 (県内大学) が連携して取り組む課題解決型の教育プログラムの実施に向けた環境整備 (企業と大学とを調整するコーディネーター配置、P B Lシンポジウムの開催 など)

【取組状況】 4大学 (山口大学、山口県立大学、徳山大学、梅光学院大学) で実施、43社が協力

《プログラム事例》

山口大学 × (株)全日空山口支店

空港や街中、機内のできる山口の活性化

山口大学 × (株)秋川牧園

はばたけ秋川チキン!chick to chicken プロジェクト

山口大学 × 美祢市

台湾観光客誘致のための企画提案

県立大学 × 生活協働組合コープやまぐち

高齢者・女性に優しい店舗づくり



岩国錦帯橋空港における
地域活性化企画



インバウンド拡大のための
台湾での聞き取り調査

4 国における議論の動向

◆ 教育再生実行会議 第十一次提言 (令和元年5月)

- ◇ 人口減少や少子・高齢化の進行、人生100年時代やAI・IoTなどの技術の急速な発展に伴うSociety5.0が到来するとともに、グローバルな競争が激化。
- ◇ これらの変化に対応し活躍できる人材育成に向けて、新たな時代を見据えた教育再生を大胆に進めることが必要との観点から、「技術の進展に応じた教育の革新」、「新時代に対応した高等学校改革」をテーマに検討・提言。

(1) 技術の進展に応じた教育の革新

<背景>

- 社会構造全体までも変えるインパクトをもつ技術革新は、一人一人の能力等に応じて公正に個別最適化された学びや、場所や時間に制約されない主体的な学習環境の実現に寄与。教育内容、教科書、教員養成など、全般的な対応が急務。
- 学校のICT環境は危機的な状況。教育の「マストアイテム」であるICTに対する関係者の認識の共有・整備の加速化が急務。

<主な提言事項>

- Society 5.0で求められる力と教育の在り方 ⇒ データサイエンス教育等も含めた基盤的な学力や情報活用能力の育成、STEAM教育の推進
- 教師の在り方や外部人材の活用 ⇒ 全ての教師のICT活用指導力の向上、教員養成を先導するフラッグシップ大学の創設
- 新たな学びとそれに対応した教材の充実 ⇒ 遠隔教育活用に向けた大学・企業等とのプラットフォームの構築、スタディ・ログ等の実証研究
- AI時代を担う人材育成としての高等教育の在り方 ⇒ 文理の垣根なく全ての学生がAI・データサイエンス等の基礎的な素養を身に付ける環境づくり
- 新たな学びの基盤となる環境整備 ⇒ ICT機器等の安価な調達モデルの提示、「SINET」の初等中等教育段階への開放

(2) 新時代に対応した高等学校改革

<背景>

- 就業構造の変化、Society5.0の到来など、高等学校を取り巻く状況は激変。高等学校が対応すべき教育上の課題は複雑化。
- これからの高等学校においては、生徒一人一人が能動的に学ぶ姿勢を身につけさせるとともに、文理両方をバランスよく学ぶこと等を通じ、Society5.0をたくましく生きる力を育成。

<主な提言事項>

- 学科の在り方 <普通科239万人(73%)、専門学科71万人(22%)、総合学科18万人(5%)>
⇒ 国は、普通科の各高校が教育理念に基づき選択可能な学習の方向性に基づいた類型の枠組みを提示、文・理をバランスよく学ぶ仕組みの構築
- 教師の養成・研修・免許の在り方 ⇒ 校内研修の充実、特別免許状の弾力的活用による外部人材(ポスドク、企業人材等)の活用
- 地域や大学等との連携の在り方 ⇒ 高校コミュニティ・スクールの導入推進、高校と大学等の協働による地域課題の解決等を通じた学びの実現 6

◆ 「Society 5.0に向けた人材育成 ～社会が変わる、学びが変わる～」 (文部科学省) (平成30年6月)

<背景・趣旨等>

- ◇ Society 5.0の実現に向けて求められる人材や能力等の育成に向けて、我が国の教育政策としてとるべき施策の方向性・短中期的な取組等を整理

<Society 5.0における学びの在り方、求められる人材像>

- AI等の先端技術による学びの在り方の変革 ⇒ スタディ・ログ蓄積によって精度を高めた学習支援
- Society 5.0における学校 (「学び」の時代) へ ⇒ 一斉一律授業の学校 → 個人の進度や能力、関心に応じた学びの場

○ 求められる人材像

- ・ 共通して求められる力： 読解力・対話力、科学的な思考力・活用力、価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究力
- ・ 新たな社会を牽引する人材： 技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材
技術革新と社会課題を繋げ、プラットフォームを創造する人材
AIやデータの力を最大限活用し展開できる人材 等

<施策の方向性、リーディング・プロジェクト>

- 「公正に個別最適化された学び」を実現する、多様な学習の機会と場の提供 [例] EdTechとビッグデータを活用した教育の質の向上
- 数学的思考力などの基盤的な学力や情報活用能力をすべての児童生徒が習得 [例] 新学習指導要領の習得、情報活用能力の習得
- 文理分断からの脱却 [例] 文理両方を学ぶ高大接続改革 (STEAM系)

◆ 「未来の教室」とEdTech研究会 第一次提言 (経済産業省) (平成30年6月)

<背景・趣旨等>

- ◇ 革新的な教育技法 (EdTech) の開発と教育現場の改革が進行する中、就学前教育、学校教育、リカレント教育の現場が目指すべき「未来の教室」の姿と、必要なEdTechの開発・導入に向けた課題を検討

<提言の概要等>

- 学習者が学び方をデザインする「学びの社会システム」 ⇒ 教科学習は個別最適化、「もっと短時間で効果的な学び方」が可能に
- 世界・地域社会・産業界・先端研究と繋ぐ ⇒ 誰でも、いつでも、どこでも個別最適化された学びが可能に
- 主要経済国の教育イノベーションの取組状況 ⇒ (米)STEM・EdTech重視の政策、(中)「中国製造2025」を支えるSTEM教育
- 「未来の教室」実証事業を通じて更に検討すべきこと ⇒ 学校へのEdTechの導入・活用に必要な環境整備